

2012/10/4
菊地（北大）

第2回巨大災害の軽減と回復力の強いまちづくり特別調査委員会議事録

日時：2012年10月4日（木） 16:00～18:00

場所：建築会館305号会議室

出席者：福和、田辺、大月、塩原、加藤、村上、久田、菊地（敬称略）

提出資料：

- ・第1回巨大災害の軽減と回復力の強いまちづくり特別調査委員会議事録（案）
- ・ホームページ掲載内容（案）
- ・東日本大震災2周年シンポジウム（案）
- ・会員住所情報の利用のお願いについて
- ・住宅と居住から復興を考える、被災地から（大月）
- ・叢書目次案（田辺）
- ・WG議事録（久田）
- ・作業スケジュール、過大外力に関する現状分析（塩原）

<議事>

1. 議事録の確認

- ・原案通り承認

2. ホームページ掲載内容の確認

- ・WG議事録のみ削除、それ以外は掲載内容（案）の通りとする。
- ・WGの活動内容は、委員会議事録でわかるようにする。
- ・さっそくHP作成作業にとりかかる。

3. 報告事項

- ・幹事に加藤委員を追加
- ・東海大会市民シンポジウムは無事、終了。大月委員、加藤委員に講演を頂いた。
- ・叢書作成の準備として、11月までに刊行企画書を作成する必要あり

4. 東日本大震災2周年シンポジウム

- ・プログラム案が理事会で承認された。
- ・2013/3/27(木)～29(金)の3日間
- ・2日目午後に本調査委員会の活動報告

- ・提言部会が第二次提言 20 項目を説明した後で、20 項目のうちから本調査委員会が関わる 5WG の活動を WG 主査が報告する。両委員会に関係する委員が多いので、発表内容の重複を避けたい。
 - ・活動内容を 4 ページにまとめておく。
 - ・PD では、本調査委員会から 2 名程度、提言部会から 3 名程度を出す。
5. 2013 年大会（北海道）での研究集会
- ・2013 年 3 月に出る提言を受けて、その後の活動内容を説明
 - ・WG の資料は、3 月のシンポジウムの 4P+その後の活動内容で 2P の計 6P を用意する。
 - ・構造本委員会でも企画を考えているかもしれないので、中島先生に確認する。
 - ・提言部会と相乗りでやる、午前+午後、午後だけでやる案などが考えられる。
6. 南海トラフ地震被害想定の見直し結果の報告
- ・2012 年 12 月までに、揺れの見直しの予測結果が出る。長周期は来年 2~3 月。
 - ・経済被害も合わせて出る。被害額は数百兆円
7. 会員住所情報の利用の依頼について
- ・個人情報が必要なし、属性と住所のみでよい（個人を特定できない範囲）。
 - ・住所を緯度経度情報に関連づける。
 - ・まずは福和主査がデータを処理してみる。
 - ・本委員会終了後、事務局と打ち合わせを持つ。
8. WG の報告
- ・大月 WG（資料あり）
フェイズからフェイズへの移行のマネジメントが重要
「1 割増しの計画」とは、首都圏直下地震帰宅困難者等対策協議会での食糧備蓄、外から入ってくる人のために 1 割増しを考えるから、もってきた言葉。1 割は、無駄でもあり、余裕ともとらえられる。東日本大震災でも無駄が意外に役に立っている。住宅ストックの考え方を再考することも必要。空き家を廃屋として壊してしまうのがよいのか、地震時に道路に倒れて燃え草になるのか、被災者の避難所として役に立つのか 公開シンポで議論してもよい。何を造るかから、あるものをどう使うかの議論。1 割増しと、限られたリソースの有効活用の考えが相反するかもしれない。
 - ・有賀 WG（資料なし）
加藤委員が代理説明
11 月初めに北上ステーションにて集中討議、これが実質 4 回目の WG

- ・田辺 WG (資料あり)

叢書の目次案を説明

環境工学は平常時のことしか検討していなかったが、これからは非常時のことを考えるべき。

あまり鮮度が落ちないうちに出版したい

全部を読まない人用に、A4 一枚程度の資料 (どこに何が書いてあるのかがわかる) があるとよい。

叢書の読者は一般市民を考えている。

環境工学でも冗長性が脚光を浴びているが、1割増しの建築 (大月 WG)に通じるかもしれない。

- ・久田 WG (資料あり)

提言部会と合同で活動。

二次提言に向けた作業を行っている。

3月の提言 (東日本大震災2周年シンポジウム) を目指して議論を進めている。

- ・塩原 WG (資料あり)

作業スケジュールの説明。東日本大震災以前、以降のディスカッション。

資料「過大外力に関する現状分析」の説明。このままでは出せない。これは提言を書くためのネタ。でも、出したいという希望もある。

公表するにあたっては、技術の信頼の回復が必要という頭書きを添える。

9. 今後の予定

- ・第3回委員会

日時：2013年2月18日(月) 10:00~12:00

活動の現状報告、3月シンポジウムの最終確認

3月シンポジウムの内容については、メールで事前確認

以上